

令和 3 年度

愛媛大学工学部第 3 年次編入学  
学 生 募 集 要 項

愛媛大学工学部

# 目 次

1	愛媛大学工学部工学科第3年次編入学アドミッション・ポリシー	1
2	選抜区分及び募集人員	1
3	出願受付期間、出願方法及び出願書類等の送付先	2
	(1) 出願受付期間	2
	(2) 出願方法	2
	(3) 出願書類等の送付先	2
4	合理的配慮を希望する入学志願者の出願	2
	(1) 受験上の合理的配慮の申請について	2
	(2) 受験上の合理的配慮の決定通知	3
	(3) 連絡及び提出先	3
5	試験日時と受験者注意事項	3
	(1) 試験日時	3
	(2) 受験者注意事項	3
6	出願・選抜方法等	3
6-1	学力選抜	3
	(1) 出願資格	3
	(2) 出願書類等	4
	(3) 検定料の返還	5
	(4) 選抜方法	5
	(5) 専門科目及び数学の試験科目	5
6-2	推薦選抜	6
	(1) 出願資格	6
	(2) 出願書類等	6
	(3) 選抜方法	6
7	合格者発表	6
8	編入学確約書の提出	7
9	欠員補充の方法	7
10	入学手続	7
11	初年度の諸経費	7
12	その他	7
	(1) 編入学時期及び編入学年次	7
	(2) 編入学後の単位認定及び履修	7
13	入学試験個人成績の開示	7
14	学力選抜における「問題、正解・解答例又は出題意図」の開示	8
15	個人情報の取扱い	8
16	問い合わせ先	8
17	専門科目の各試験科目及び出題範囲	9

## <本学部所定の用紙>

- \* 入学志願票、写真票、受験票（学力選抜用、推薦選抜用）
- \* 推薦書（推薦選抜用）
- \* 受験許可書（大学在学者用）
- \* 検定料払込証明書・払込取扱票
- \* 志願者名票
- \* 返信用封筒
- \* 出願用封筒

## 1 愛媛大学工学部工学科第3年次編入学アドミッション・ポリシー

### <求める入学者像>

工学部工学科は、工学・技術の分野で技術者・研究者等として国内外で活躍できる人材の育成を目指す。そのため、工学科では次のような人物を求める。

(知識・理解)

1. 本学科の専門分野を学ぶために必要な、高等専門学校卒業レベルの基礎学力を有している。

(思考・判断、技能・表現)

2. 物事を多面的に考察し、論理的にまとめ表現することができる。

3. 自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。

(興味・関心・意欲、態度)

4. 工学の分野に興味を持ち、習得した知識・技術を地域社会あるいは国際社会に役立てたいと考えている。

(主体性・多様性・協働性)

5. 主体的に多様な経験を得ようとする意欲を有している。

6. 多様な他者と関わり、相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力を有している。

## 2 選抜区分及び募集人員

学科	コース	選抜区分	募集人員
工学科	機械工学コース	学力選抜及び推薦選抜	10人
	知能システム学コース		
	電気電子工学コース		
	コンピュータ科学コース		
	応用情報工学コース		
	材料デザイン工学コース		
	化学・生命科学コース		
	社会基盤工学コース		
	社会デザインコース		

※ 選抜区分に「学力選抜及び推薦選抜」とあるコースへの出願は、どちらか1つを選択してください。

### 3 出願受付期間、出願方法及び出願書類等の送付先

(1) 出願受付期間

令和2年4月27日(月)から5月8日(金)まで

[出願期間内に配達されたもの及び5月9日(土)以降に配達されたもののうち、5月8日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受け付けます。]

(2) 出願方法

必ず本学部所定の出願用封筒を使用し、「速達・簡易書留郵便」で送付してください。  
なお、直接持参しても受理しないので注意してください。

\* 検定料免除の特例措置について

自然災害により被災した進学希望者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、以下に該当する場合は、検定料免除の特例措置を行います。

自然災害により災害救助法適用地域において被災し、次のいずれかに該当する方

- (1) 学資負担者又は志願者が災害救助法の適用を受けた地域に所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した場合
- (2) 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で、当該災害により死亡又は行方不明となった場合

※免除の対象となる入学試験：災害救助法適用日以降で当該災害救助法適用日の属する年度内に実施される入学試験

詳細は本学ホームページをご覧ください。(https://www.ehime-u.ac.jp/post-94204/)

(3) 出願書類等の送付先

〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学工学部入試係 TEL 089-927-9697

### 4 合理的配慮を希望する入学志願者の出願

本学では、障がい等のある者が、受験上及び修学上不利になることがないように、合理的配慮の提供を行っており、そのための相談を随時受け付けています。

受験の際に必要な合理的配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願する前のできるだけ早い時期に愛媛大学工学部入試係まで相談してください。

また、相談は志願者本人、保護者及び担任教諭等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

(1) 受験上の合理的配慮の申請について

受験上の合理的配慮の提供を必要とする者は、以下の書類を出願書類とあわせて提出してください。

なお、出願後、事故等により受験上の合理的配慮が必要になった場合、又は出願の期限までに提出が困難な場合は、早急に愛媛大学工学部入試係までご連絡ください。

また、通常と異なる解答方法を希望される場合には、対応に時間を要するため、出願前のできるだけ早い時期に申請するようお願いいたします。

・受験上の合理的配慮希望申請書 (https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/)

・障害者手帳（身体障害者手帳，療育手帳，精神障害者保健福祉手帳の所持者）の写し又は医師の診断書（写しでも可）等，障がい等の現況が確認できる資料

（注）日常生活で使用している補聴器，松葉杖，車椅子等についても，受験上の合理的配慮の申請が必要になります。なお，座布団，膝掛け，タオル（サイズは問わない），ティッシュペーパー，ハンカチ，目薬については，受験上の合理的配慮の申請は不要です。

(2) 受験上の合理的配慮の決定通知

提出された書類により，受験上の合理的配慮を決定し，決定された合理的配慮の内容は，申請者に郵送で通知します。

なお，決定の際に不明な点がある場合には，別途確認の連絡を行うことがあります。

(3) 連絡及び提出先

愛媛大学工学部入試係（8ページ問い合わせ先参照）

## 5 試験日時と受験者注意事項

(1) 試験日時 令和2年5月23日（土）

学 力 選 抜			推 薦 選 抜		
コース	試験科目等	試験時間	コース	試験科目等	試験時間
全コース	英 語	9時00分～10時00分	全コース	面 接	10時00分～
	数 学	10時20分～12時00分			
	専門科目	13時00分～15時00分			
	面 接	15時10分～			

※ 専門科目及び面接の時間については，一部変更する場合があります。

(2) 受験者注意事項

- ①試験開始時刻の20分前までには，受け付け（工学部4号館玄関前を予定）を済ませてください。
- ②本学部が交付する（5月15日頃速達で発送予定）受験票を必ず持参してください。

## 6 出願・選抜方法等

### 6-1 学力選抜

#### 〈全コース〉

(1) 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者及び令和3年3月までに卒業見込みの者
- ② 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び令和3年3月までに卒業見込みの者
- ③ 修業年限4年以上の大学に2年以上（休学期間を除く。）在学（令和3年3月をもって2年間在学する者を含む。）し，62単位以上を修得した者及び令和3年3月修得見込みの者ただし，本学在学中の者は除く。

- ④ 学校教育法施行規則第100条の2に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科の課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者（大学入学資格を有する者に限る。）
- ⑤ 学校教育法施行規則第186条に規定する専修学校の専門課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者（大学入学資格を有する者に限る。）
- ⑥ 外国において学校教育における14年の課程（日本の通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
- ⑦ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
- ⑧ 外国の短期大学を卒業した者及び外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）

注 上記⑤⑥⑦⑧により出願しようとする者は、出願資格の有無等の事前協議を行うので、4月23日（木）までに工学部入試係まで申し出てください。

(2) 出願書類等（\*は本学部所定の用紙を使用してください）

書 類 等	摘 要
*入 学 志 願 票	本学部所定の用紙に必要事項を記入したもの
*写 真 票 *受 験 票	本学部所定の用紙に必要事項を記入したもの
成 績 証 明 書 等	1) 高等専門学校を卒業見込みの者〔調査書〕 2) 短期大学を卒業見込みの者〔成績証明書〕 ※上記の1)及び2)については、令和3年3月までに修得見込みの科目について、評価の欄に○印等を付したもの 3) 高等専門学校、短期大学及び大学の既卒者〔成績証明書〕 4) 他大学在学者は〔成績証明書及び単位修得見込証明書又は履修証明書（令和3年3月までに62単位以上を修得可能であることが確認できるもの）〕 5) 出願資格⑤の者〔課程の修了に必要な総授業時間が1,700時間以上であることがわかる成績証明書〕
卒 業（見 込） 証 明 書 又は 修 了（見 込） 証 明 書	他大学在学中の者は不要です。
*受 験 許 可 書	他大学在学中の者は、大学（学部）長の許可を得て提出してください。
学 校 認 定 証 明 書	出願資格⑤の者は提出してください。 （修了する（した）課程が文部科学大臣の定める基準を満たすものであることについて出身学校が発行する証明書）
写 真 2 枚	上半身、無帽、正面向きで出願前3か月以内に撮影したものを、写真票及び受験票の写真欄に貼ってください。（縦4cm×横3cm、白黒又はカラー）
*検 定 料 払 込 証 明 書	検定料30,000円を最寄りの郵便局又はゆうちょ銀行（他の金融機関からの振込はできません。）の窓口から払込後（ATMは使用しないでください。）、日附印を押した「振替払込受付証明書（大学提出用）」を「検定料払込証明書」に貼って提出してください。なお、払込済の検定料は（3）の返還請求できる場合を除き、返還しません。
*志 願 者 名 票	本学部所定の用紙に必要事項を記入したもの
*返 信 用 封 筒 （ 受 験 票 送 付 用 ）	本学部所定の封筒に志願者のあて先を明記し、384円分の切手（速達料金を含む。）を貼付したもの

- 注) ・出願書類等の作成に当たっては、黒インク又はボールペンで丁寧に記入してください。  
 ・志願票の記入事項及び提出書類等に不備のあるものは、受け付けません。  
 ・出願書類受理後は、いかなる理由があっても記入事項及び書類の変更は認めません。  
 ・提出書類の返還は、行いません。

### (3) 検定料の返還

次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ① 検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合

返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。「検定料返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

上記③の場合は、出願書類等返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒 790-8577  
松山市道後樋又 10 番 13 号  
愛媛大学財務部財務企画課出納チーム  
電話 089-927-9074, 9077  
E メール suitou@stu.ehime-u.ac.jp

### (4) 選抜方法

学力試験、面接の結果及び提出された書類（成績証明書等）を総合して判定します。

#### ①配点

英 語	数 学	専門科目	面 接	成績証明書等	計
100	100	200	50	50	500

#### ②採点・評価基準

教 科 等	採 点 ・ 評 価 基 準（一般的基準）
英 語	読解力、表現力などの基礎学力をみます。
数 学	微分積分、線形代数についての基礎学力の達成度をみます。
専 門 科 目	3年次以降の学習に適應できる、総合的な基礎学力の達成度をみます。
面 接	目的意識、勉学意欲、基礎知識、自己表現力などについて総合的に評価します。
成績証明書等	学業成績、人物、特別活動、志望動機などについて総合的に評価します。

#### ③合否判定基準

総合点で合否を判定します。なお、同点者は同順位とします。

### (5) 専門科目及び数学の試験科目

コース	専門科目	数学
※機 械 工 学 コース	材料力学、熱力学、流体力学から2科目選択	微分積分学 (偏微分法、 重積分法等 を含む。)線 形代数
※知能システム学コース	材料力学、熱力学、流体力学から2科目選択	
※電気電子工学コース	電磁気学、電気回路	
※コンピュータ科学コース	計算機システム、プログラミング(C言語)、情報数学	
※応用情報工学コース	計算機システム、プログラミング(C言語)、情報数学	
※材料デザイン工学コース	材料組織学、材料力学、物理化学、無機化学、電磁気学から3科目選択	
化学・生命科学コース	無機・分析化学、有機化学、物理化学	
社会基盤工学コース	構造力学、水理学、土質力学、コンクリート工学から2科目選択	
社会デザインコース	土木計画学および(構造力学、水理学、土質力学、コンクリート工学から1科目選択)の2科目	

注) ・※印のコースの専門科目は、筆記具以外に電卓の持ち込みを可とします。

・専門科目の各試験科目の出題範囲については、P9～P13を参照してください。

## 6-2 推薦選抜

### 〈全コース〉

#### (1) 出願資格

次の①, ②いずれかを満たし, 合格した場合入学を確約できる者に限ります。

- ①高等専門学校を令和3年3月卒業見込みの者で, 学科等での4年次の成績が上位30%以内で学校長又は学科長(以下「推薦者」という)が責任を持って推薦できるもの
- ②短期大学を令和3年3月卒業見込みの者で, 学科等での1年次の成績が上位30%以内で大学長又は学科長(以下「推薦者」という)が責任を持って推薦できるもの

#### (2) 出願書類等 (\*は本学部所定の用紙を使用してください。)

書 類 等	摘 要
*入 学 志 願 票	本学部所定の用紙に必要事項を記入したもの
*写 真 票 *受 験 票	本学部所定の用紙に必要事項を記入したもの
*推 薦 書	推薦者が記入したもの
成 績 証 明 書 等	1) 高等専門学校を卒業見込みの者〔調査書〕 2) 短期大学を卒業見込みの者〔成績証明書〕 ※上記1)及び2)については, 令和3年3月までに修得見込みの科目について, 評価の欄に○印等を付したのもの
写 真 2 枚	上半身, 無帽, 正面向きで出願前3か月以内に撮影したものを, 写真票及び受験票の写真欄に貼ってください。(縦4cm×横3cm, 白黒又はカラー)
*検 定 料 払 込 証 明 書	検定料30,000円を最寄りの郵便局又はゆうちょ銀行(他の金融機関からの振込はできません。)の窓口から払込後(ATMは使用しないでください。), 日附印を押した「振替払込受付証明書(大学提出用)」を「検定料払込証明書」に貼って提出してください。なお, 払込済の検定料は返還請求できる場合を除き, 返還しません。
*志 願 者 名 票	本学部所定の用紙に必要事項を記入したもの
*返 信 用 封 筒 ( 受 験 票 送 付 用 )	本学部所定の封筒に志願者のあて先を明記し, 384円分の切手(速達料金を含む。)を貼付したもの

- 注) ・出願書類等の作成に当たっては, 黒インク又はボールペンで丁寧に記入してください。  
 ・志願票の記入事項及び提出書類等の不備のあるものは, 受け付けません。  
 ・出願書類受理後は, いかなる理由があっても記入事項及び書類の変更は認めません。  
 ・提出書類の返還は, 行いません。  
 ・検定料の返還についてはP5の(3)を参照してください。

#### (3) 選抜方法

面接の結果及び提出された書類(推薦書, 成績証明書等)を総合して判定します。

##### ①配点

面 接	推 薦 書, 成 績 証 明 書 等	計
100	100	200

##### ②採点・評価基準

教 科 等	採 点 ・ 評 価 基 準
面 接	基礎知識, 目的意識, 勉学意欲, 自己表現力などについて総合的に評価します。
推 薦 書 成 績 証 明 書 等	学業成績, 人物, 特別活動, 志望動機などについて総合的に評価します。

##### ③合否判定基準

総合点で合否を判定します。なお, 同点者は同順位とします。

## 7 合格者発表

日時: 令和2年6月3日(水) 午前10時

場所: 工学部本館玄関前

※合格者については, 本学部掲示場に受験番号で発表するとともに, 受験者全員に合否結果を通知します。なお, 推薦選抜では, 学校長及び大学長へ合否結果の通知を発送します。電話等による合否の照会には, 一切応じません。

## 8 編入学確約書の提出

合格した場合「編入学確約書」又は「入学辞退届」を令和2年7月3日(金)までに提出してください。期日までに届かない場合は、辞退したものとして取り扱います。

<「編入学確約書」の作成方法>

学力選抜合格者	本人及び保証人が連署名してください。
推薦選抜合格者	本人及び推薦者が連署名してください。

※ これらの書類は、合格者へ別途送付します。

## 9 欠員補充の方法

編入学確約者が入学定員に満たない場合には、追加して合格者を決定することがあります。

## 10 入学手続

入学手続については、編入学確約書提出者に対して、令和2年12月中旬頃に改めて通知します。

なお、入学手続後、卒業又は必要単位が修得できないことが確定した場合は、合格を取消し、入学料は返還できません。

## 11 初年度の諸経費

初年度に必要な諸経費は、おおむね次のとおりです。

入学料	282,000円
授業料(前期分267,900円、後期分267,900円)	535,800円
その他(学生教育研究災害傷害保険、後援会費等)	52,430円
計	870,230円

※ 入学料及び授業料の額は令和2年度納付額であり、令和3年度は改定になる場合があります。

※ 在学中に授業料改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

授業料の納入時期については別途お知らせします。

## 12 その他

### (1) 編入学時期及び編入学年次

編入学時期は令和3年4月1日とし、第3年次に編入学となります。

### (2) 編入学後の単位認定及び履修

出身校での履修科目と本学部の授業科目を照合し、成績等も加味した上で単位の認定を行います。(場合によっては、入学後直ちに単位認定試験を行い、その成績により認定することがあります。)

なお、単位認定の参考資料として教育課程表、講義要目(シラバス)を提出してください。単位認定の参考資料は、令和2年12月11日(金)までに提出してください。

また、これらの認定単位数を含め、3年次終了時まで本学部で定める単位数(卒業論文履修要件)を修得した場合は、編入学後2か年で卒業可能ですが、修得できなかった場合は、3か年以上の在学年数を必要とします。(ただし、編入学後の在学年数は、4年を超えることはできません。)

## 13 入学試験個人成績の開示

本学部では、令和3年度第3年次編入学試験の個人成績(各科目得点及びコース順位)を開示します。希望者は、期間内に下記の要領で請求してください。

<請求者> 受験者本人に限ります。(代理人は不可)

<請求期間> 令和2年8月3日(月)から令和2年8月14日(金)まで

郵送による請求のみとし、この期間内の消印があるもの限り受け付けます。

<請求方法> 以下のものを同封し、工学部入試係へ郵送で請求してください。

・請求書(記入例参照)

・414円分の切手を貼付し、自己のあて先を明記した返信用封筒(長形3号:12cm×23.5cm)

・令和3年度第3年次編入学試験受験票

＜開示方法＞ 本学部到着後，2週間程度で受験者本人あてに，郵送された受験票とともに，簡易書留郵便で郵送します。

### 請求書（記入例）

令和2年 8 月 日
愛媛大学工学部長 殿
請求者氏名 印
受験番号
連絡先 電話 - -
入学試験個人成績開示請求書
令和3年度第3年次編入学試験の成績について，下記のとおり開示請求します。
記
1. 各科目得点 2. コース順位 (開示請求するものを明記してください。)

## 14 学力選抜における「問題，正解・解答例又は出題意図」の開示

令和3年度第3年次編入学試験の学力選抜における「問題，正解・解答例又は出題意図」を開示します。

＜開示日＞ 令和2年6月3日（水）午前10時以降

＜請求方法＞ 愛媛大学工学部入試係窓口に直接来学するか，郵送（390円分の切手を貼付した角形2号の返信用封筒を同封）で請求してください。

## 15 個人情報の取扱い

本学では，提出された出願書類に記載された氏名，住所等の個人情報は，本学における出願の事務処理，出願書類等に不備があった場合の連絡，試験の実施，合格者発表，合格された場合の入学手続き関係書類の送付等のために利用します。

なお，出願書類等に不備があった場合には，その訂正・補完を迅速に行っていただくために，本学を受験されること及び提出した出願書類等に不備があることを，保護者等又は所属学校に通知する場合があります。

また，同個人情報は，合格者の入学後の教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），授業料等に関する業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

## 16 問い合わせ先

〒790-8577

松山市文京町3番

愛媛大学工学部入試係

TEL 089-927-9697

FAX 089-927-9694

## 17 専門科目の各試験科目及び出題範囲

コース	試験科目及び出題範囲
機械工学コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 材料力学               <ul style="list-style-type: none"> <li>1 材料試験（引張試験及び引張特性）</li> <li>2 応力とひずみ</li> <li>3 真直はりのせん断力と曲げモーメント</li> <li>4 真直はりの応力とたわみ</li> </ul> </li>   <li>○ 熱力学               <ul style="list-style-type: none"> <li>1 熱力学の第一，第二法則</li> <li>2 理想気体とそのサイクル</li> </ul> </li>   <li>○ 流体力学               <ul style="list-style-type: none"> <li>1 流体静力学</li> <li>2 流体動力学の基礎</li> <li>3 管路内の流れ</li> <li>4 流れの中の物体が受ける力</li> </ul> </li> </ul>
知能システム学コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 材料力学               <ul style="list-style-type: none"> <li>1 材料試験（引張試験及び引張特性）</li> <li>2 応力とひずみ</li> <li>3 真直はりのせん断力と曲げモーメント</li> <li>4 真直はりの応力とたわみ</li> </ul> </li>   <li>○ 熱力学               <ul style="list-style-type: none"> <li>1 熱力学の第一，第二法則</li> <li>2 理想気体とそのサイクル</li> </ul> </li>   <li>○ 流体力学               <ul style="list-style-type: none"> <li>1 流体静力学</li> <li>2 流体動力学の基礎</li> <li>3 管路内の流れ</li> <li>4 流れの中の物体が受ける力</li> </ul> </li> </ul>
電気電子工学コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電磁気学               <ul style="list-style-type: none"> <li>1 静電界</li> <li>2 直流電流</li> <li>3 静磁界</li> <li>4 電磁誘導</li> <li>5 電磁界</li> </ul> </li>   <li>○ 電気回路               <ul style="list-style-type: none"> <li>1 交流回路解析</li> <li>2 過渡解析</li> </ul> </li> </ul>

コース	試験科目及び出題範囲
コンピュータ科学コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計算機システム <ul style="list-style-type: none"> <li>1 データ構造とアルゴリズム</li> <li>2 論理回路</li> <li>3 計算機の基本動作</li> </ul> </li>   <li>○ プログラミング（C言語）</li>   <li>○ 情報数学 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 集合, 関係, 写像, 命題</li> <li>2 ブール代数</li> </ul> </li> </ul>
応用情報工学コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計算機システム <ul style="list-style-type: none"> <li>1 データ構造とアルゴリズム</li> <li>2 論理回路</li> <li>3 計算機の基本動作</li> </ul> </li>   <li>○ プログラミング（C言語）</li>   <li>○ 情報数学 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 集合, 関係, 写像, 命題</li> <li>2 ブール代数</li> </ul> </li> </ul>

コース	試験科目及び出題範囲
材料デザイン工学コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 材料組織学 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 結晶学</li> <li>2 相平衡・熱力学</li> <li>3 相変態</li> </ul> </li>   <li>○ 材料力学 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 応力とひずみ</li> <li>2 引張りと圧縮</li> <li>3 真直はりのせん断力と曲げモーメント</li> <li>4 真直はりの応力とたわみ</li> </ul> </li>   <li>○ 物理化学 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 熱力学の第1法則, 第2法則</li> <li>2 内部エネルギーとエンタルピー</li> <li>3 自由エネルギーと化学平衡</li> </ul> </li>   <li>○ 無機化学 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 原子の構造と周期表</li> <li>2 化学結合</li> <li>3 酸化・還元</li> <li>4 元素の性質</li> </ul> </li>   <li>○ 電磁気学 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 静電気</li> <li>2 電流と磁界</li> <li>3 電磁誘導</li> <li>4 交流</li> </ul> </li> </ul>
化学・生命科学コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 無機・分析化学 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 元素と周期律</li> <li>2 化学結合</li> <li>3 相平衡と溶液の性質</li> <li>4 酸・アルカリ</li> <li>5 酸化・還元</li> </ul> </li>   <li>○ 有機化学 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 有機化合物の構造と性質</li> <li>2 有機化合物の反応</li> </ul> </li>   <li>○ 物理化学 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 気体の状態方程式</li> <li>2 熱力学</li> <li>3 化学平衡</li> </ul> </li> </ul>

コース	試験科目及び出題範囲
社会基盤工学コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 構造力学 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 応力とひずみ</li> <li>2 はりのせん断力と曲げモーメント</li> <li>3 はりの応力とたわみ</li> <li>4 柱</li> <li>5 静定トラス</li> </ul> </li>   <li>○ 水理学 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 静水力学</li> <li>2 管水路・開水路の定常流</li> <li>3 オリフィスとせき</li> </ul> </li>   <li>○ 土質力学 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 土の物理的性質</li> <li>2 土の圧密</li> <li>3 土のせん断</li> <li>4 土圧</li> <li>5 支持力</li> <li>6 斜面安定</li> </ul> </li>   <li>○ コンクリート工学 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 コンクリート用材料</li> <li>2 フレッシュコンクリートの性質</li> <li>3 硬化コンクリートの性質</li> <li>4 コンクリートの配合</li> <li>5 コンクリートの施工</li> </ul> </li> </ul>

コース	試験科目及び出題範囲
社会デザインコース	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 土木計画学 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 計画学基礎</li> <li>2 工程管理とクリティカルパス</li> <li>3 交通計画</li> <li>4 都市計画</li> </ul> </li>   <li>○ 構造力学 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 応力とひずみ</li> <li>2 はりのせん断力と曲げモーメント</li> <li>3 はりの応力とたわみ</li> <li>4 柱</li> <li>5 静定トラス</li> </ul> </li>   <li>○ 水理学 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 静水力学</li> <li>2 管水路・開水路の定常流</li> <li>3 オリフィスとせき</li> </ul> </li>   <li>○ 土質力学 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 土の物理的性質</li> <li>2 土の圧密</li> <li>3 土のせん断</li> <li>4 土圧</li> <li>5 支持力</li> <li>6 斜面安定</li> </ul> </li>   <li>○ コンクリート工学 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 コンクリート用材料</li> <li>2 フレッシュコンクリートの性質</li> <li>3 硬化コンクリートの性質</li> <li>4 コンクリートの配合</li> <li>5 コンクリートの施工</li> </ul> </li> </ul>

